

夏期講習所感

静岡幼稚園 野々山きみ

今夏東京都に日本幼稚園協會主催にて夏季講習會の開かるるを聞き、喜びて早速同志を誘ひ受講の申込をなす。

いよいよ開會にあたりて、先づ驚きと心強さを感じたるは、その會員の全國的の集會なりし事、内地は固より遠く海を隔てし地よりの來會者もありて、その集ひ合ひしもの實に四百四十名の多數に及びしは、勿論日頃支那滿洲なごにも同じ道にいそしまるゝ方々のあることは知りつゝも、今日のおあたり同じ室に席をならべて講師先生の講話を伺ひ、尙又知るも知らざるも相親みて、共に語り共に斯道の研究に精進せる愉快さは、たまへん方なし。殊に今回の講習會たるや、打解けたる會にして、例年にも増したるきびしき暑さにもかゝはらず、講師先生方の御熱心なる御指導は會員一同をして、暑さを忘れ毎日楽しく拜聽するを得しめ、誠に感謝に堪へず。

次に講師先生方の御講話につきての感想をあぐれば、

一、倉橋先生の幼稚園保育の眞諦並保育案保育課程の實際につきては、常に保育に携はる私共の、動もすれば因習にさらはれ、研究におくれる等、自らの恐れつゝありしことどもを、一々指摘されて深くその誤れるをささらしめ、迷へるに道を示し、眠れるを覺醒させられたる、その御懇篤さに感銘し、實際保育者の抱負はかくあるべきを痛感せしめられ、更に又常に疑問せし問題に對し、一々御解答をいたゞきたる誠に光明を得たり。

一、淡路博士の幼兒性行評定尺度の新らしき御講話には、私共に最も適切容易なる方法を御示し下され、今後先生の御講話に基き更に一步をふみ出し、これを實施するやう努力せんまうなづかせられたり。

一、及川先生の手技の、幼兒にふさはしきものを與へら

れたるを喜び、常にたゆまぬ先生の御研究の程をうかがはる。

一、戸倉先生のお遊戯には、將に行きつづまらんご危ぶまるゝ現狀より救はんごして、特に眞に幼児に即したる自由表現を高潮せられたる、誠にかくあるべきものご強く感銘す。

かく一々數へ來りて、常に迷へる自分は光明の街に引き

感想に代へて

出されし感を禁ずるを得ず。

要するに今回の講習會は、講師先生方ごも、いつになき親しみを感じ、受けし課目の一々わがものになりしやうなる思ひにて、日々喜びに満ちて六日間を有意義に過し、又來ん年もかゝる會の開かれんごを切望し、今に尙ほ向上の氣に燃えつゝあるを喜び、拙き筆もて感想の一端ごす。

東京 文華幼稚園 留岡よし子

Yさん。其後御體如何？ 講習には死んでも行く。講習、講習。ご、呪文の様に言つていらしたその講習。文部省のなか何だかごに、かく、倉橋先生の講習なるものに、遂に御姿の見えなかつたのは本當に御氣の毒ごも残念ごも申上げ様がありません。私？ 勿論出席、大切な病人。一時間

半かゝる田舎から。子供等の始末。留守のあれこれ等々の毎日。海を越えて來られた方々の御熱心もさるもの乍ら東

京の住人だからごいつて、またあなたのように出席出來なかつたからつて、凡そ保姆ごいふ程の者が、講習々々ご本當に三七日のお籠りならぬ、六日間を神詣でもする氣でゐるのですから參詣人の多かつたのも不思議な事ではありませんでした。

先づ本堂は見事な本建築。流石、御用意萬端至れり盡せり。會員名簿が申込順に府縣別園名入、番號付で出來て居